

失勃児督処方録

戸塚武比古

はじめに

戸塚静海自筆に係る失勃児督処方録は、嘗って、吳秀三先生のシーボルト関係の一、二の著書、明治前医学史、明治前薬物学史等に引用せられており、また、その原本は大正十年に開催されたシーボルト関係資料展覧会に出陳されたことはあるが、その内容の全部はまだ公開されたことがない。

本書は墨書、袋綴じの和装本（タテ二五センチ、ヨコ一六センチ）三冊であつて第一冊は三〇丁、第二冊は廿五丁、第三冊は十四丁より成り、一丁には十四乃至十八行の文字が書かれている。文体は概ね和風漢文と文語体日本文の混淆であり、その例外として第一冊の最後の一丁にはラテン語による薬品名が書かれている。各冊の表紙の題簽は失勃児督処方録一（二または三）であるが、一、二冊初頭にある内題は失勃児督処方録卷ノ一（卷ノ二）であるが、第三冊目は失勃児督先生薬方録と誌されている。

特に注目すべきは、第二冊目内題の下方に丁亥年とあり、第三冊目の同じ位置に遠江 戸塚静海輯とある。このことは静海が長崎に在った文政十年に、自ら書き集めたものであることを示している。

全篇を通じて、その内容には殆ど分類、序列等のことはない。即ち書を編集する考はなく、単に医術上の見聞を集めたものである。しかし、書写は極めて慎重、丁寧に行われている点から推するに、先ず下書帳を作成し、文章を整えた上、浄書したものであろう。

今回印刷に付するに当って、原文の変更は最小に止めた。即ち一、読み易くするために、各段落毎に全冊を通じて一貫番号（ゴザ体）を付した

二、句読点を付し、漢字の処には返り点を付した。

三、印刷紙面を少くするために、原文の意味を損わぬよう注意しつつ、一行の字数を多くした。

あとがき

全冊を通覧すると、全段落二二三の記述に次の型があるのに気がつく。

第一型 病症に対してその処方を書いたもの 第二冊（一）（二）

（三）等、第二冊（一〇二）（一〇三）（一〇四）等、第三冊

（一九九）（二〇〇）（二〇一）等、

第二型 方剤の名に対してその処方を書いたもの 第一冊（二

八）（三九）（四六）等、第二冊（四一〇）（一五六）（一六〇）

等、第三冊（一九五）

第三型 病症日誌風のもの 第二冊（一八七）第三冊（一八九）

（一九〇）（一九一）等

第一型は第一冊、第二冊に多く、第三冊に少ない。第二型は第

一冊に多く、第二冊に少なく、第三冊には一例あるに過ぎない。第三型は第一冊に一例あるのみで、第三冊は多い。また全冊を通じて失物児督或は先生の字の現われたものは五例、即ち第一冊には(四四)、第二冊には(二二二)、第三冊には(一九三)(一九七)(二〇三)。上記事項と第二冊巻頭にある丁亥年、第三冊巻頭の失物児督先生薬方録、遠江、戸塚静海輯の文字と併せ考うれば、先ず第三冊、第二冊と記し、本冊子の実用上の便宜と考えて第三冊を作成したとの見方は如何なるものであろうか。

この冊子に現われた病名を本道、外科、内科、眼科、に分類すると概ね次の通りとなる。

- 本道 呼吸器門 一八 肺勞 肺癆 肺癰 肺癰腫 胸水
 胸痛 痰喘 百日咳等
 消化器 一二 停食嘔吐 癰囊 呃逆 肝脾頑強 虻虫 腹肚
 膨脹 留飲胸腹急痛等 循還器 六 卒厥 卒中 水腫 水腫
 衝心等
 岩腫 二 肝臟岩 乳岩等
 其他 三七 腎癰腫 小便赤淡 壞血病 傷冷毒 痛風 レウ
 マチ 癩癩 霍乱 産後發狂 不意発笑 虚弱等
 外科 皮膚病 一一 疥癬 湿瘡 胎毒 瘡癩等
 性病 一五 梅毒 淋病 下疳 石淋等
 其他 二六 腹水穿孔 陰囊水腫 痔 脱肛 霍膝風 骨疽
 下唇腐蝕等
 女科 八 帶下 産後惡露 子宮攣急 子宮腫 子宮衰弱 子宮
 下血等

眼科 二三 白点眼 赤点眼 黒内障 眼癰腫 角膜翳曇 痘余
 毒眼

合計約一六〇の病名が記載されている。

記載されている薬種名は二一九にのぼるが、一つの薬種について、二種、三種の異名が用いられていると思われるものが相当数ある。例えば芒硝、オンデルソウト、シルバスソーダ、或いは阿片、阿芙蓉、ヲビウム、或いは加密尔列、苦葱、ムードルコロイド等である。これらは異国産、国産の差、品位の差によるものであるうか。これらの異名と思われるもの五八があるから、それを差引くと、記された薬種は一六一である。(二二五)の内障瞳孔散大の者の段落に「針術前ニ瞳子ヲ開カセ廣メン為メニ、ビルゼンコロイド、并、シキユータ、及、阿片汁ヲ眼内ニ点ズ(ビルゼンコロイド、代用莖若、和蘭甚ダ多シ、種ヲ下セバ生育スルト云)」奥医師土生玄碩が蔽罰を賭してシーボルトに教を受けた莖若の名がここに見える。

終に臨み本冊子の發表を許可された所蔵者、信州大学名誉教授戸塚忠政氏に対して深甚の謝意を表するものであります。

失勃兒督處方錄 一

(内題) 失勃兒督處方錄

(二) 肺癆腫 發熱脉急數、胸膈刺痛、橫臥シ難ク、呼吸促進、大渴煩燥、四肢搖擗、食氣減少、小水赤黃、大便如_レ常者

第一 放血九十錢

欬劑 硝石二錢 甘草膏五分 ヒヨシヤモス十二匁

右水九十六錢ニ溶化シ、温ニ乘シサーレツプ〔サーレツプ

和産未詳 代用蛾_{ホト}肩_{ホト}中根_{ホト}ニテ宜シ〕二小匙ヲ加ヘ、每半時二

匙ヲ用ヒ、毎夜一次灌腸ヲ施ス。

其方 醋_{半匁} 苦葱煎汁_{五合} 石鹼一錢或半錢

右溶化シ用ユ。如此スル_レ九八日、諸症尚減セズ。但漸ク

仰臥ヲ得ニ至ル。又ハ日ニ放血卅錢ヲ漏シ、煎劑前方ヲ用

ユ。然ルニ九日ヨリ胸痛十二七、八ヲ減シ、脉大ニ緩ニシテ

弱ナリ。四肢搖擗、肉疔、大渴、煩燥大ニ減ズ。故ニ灌腸法

ヲ止メ、尚前方、欬劑ヲ用ユ。十二日ニ至リ諸症半ヲ減シ、

少シク横臥ヲ得ルニ至ル。然レモ、食氣不進、後方ヲ用ユ。

竜胆末一匁 硝石一錢半 チキターリス十二匁 砂糖_{半匁}

ヒヨシヤモスエクタラクト一匁

右調勻シ、十二服ニ分チ、毎日二服ヲ用ユ。背ニ発泡ヲ貼

ス。大キ大碗ノ如シ。之ヲ用ユル一劑、諸症稍輕ク、飲食稍

進ム。又後方ニ転ズ。

カロメル二十匁 金硫黄二匁 竜腦十匁 チキターリス半匁

〔此方砂糖ヲ加ヘサル所以ハ、患者甘味ヲ嫌フガ故ナリ〕

右調勻シ為_レ二十貼、毎日服三貼。凡ソ三日ノ間連用ズ、自

汗出テ諸症漸々減スレモ、穀氣復セズ。由テ後方ヲ用ユ。

依蘭土苔一匁 或作_レ半匁

右水一廿ヲ以テ煮テ煎汁ヲ取リ

サーレツプ一錢 ヒヨシヤモス半匁

硝石半錢 茅振熱膏四錢

右四藥ヲ加ヘ調勻シ、每半時二一匙ツ、用ユ。後更加_レ竜胆

熱膏。

(二) 微毒腎辺腫瘍経_レ年者

硝石二錢 シルバスソーダ四錢〔代用芒硝〕

右水一廿ニ溶解シ、薄荷油四滴ヲ加ヘ、毎日一時ゴトニ二匙

ヲ用ユ。〔或毎一時ニ二匙ヲ用ユルニ作ル〕

外用方

カヤブテ_レ油二十滴 礞砂二錢 胆八油二錢

右混和シ、日々患所ニ擦ス。

(三) 白点眼又治瑪瑙翳多年者

シュプリマート一匁 テビウム二匁

右水二匁ヲ以テ溶解シ、眼内ニ点ズ。

(四) 眼痛自_レ傷冷毒ニ來者

サンビキス二シキユルベ

右水三匁ヲ以テ煮錫ノ精十二匁 ラウダニユム十五匁ヲ加ヘ、

毎日二度眼中ニ点入ス。

飲劑

纈草四錢 大黃二錢

右水十二匁ヲ以テ煮、薄荷油四滴ヲ加ヘ、每一時一匙ヲ用ユ。

(五) 水腫虚羸者

纈草一錢 水楊梅一錢

右水十二匁ヲ以テ煮テ、硝石一錢ヲ加ヘ、每一時一匙。

又方

水楊梅五分 薄荷五分 纈草二錢

右水四錢〔錢疑多ノ訛〕ヲ以テ煎、每時一匙。

(六) 赤眼由レ咳來者

硝石十五錢 吐酒石一匁

右水十二匁ヲ以テ溶解シ、砂糖一匁ヲ加ヘ、每時一匙。

蒸劑

加密尔列 フランダ菊

(七) 石淋

酒石酸四匁

右水四匁ニ溶和シ、胆礬精〔硫黃精ヲ代用スルモ亦可ナリ〕

廿滴ヲ加ヘ、毎日四匁ヲ飲服ス。〔其効如レ神〕

兼用飲劑

茅根 サルザハリ 奇糧 甘草 硝石

(八) 水氣衝心急迫者

硝石 刺蝟石 酒石酸シニール

兼用煎劑、サルヘー単味ヲ用テ可ナリ。

(九) 小兒頭瘡疥癬等

硫黃 大黃 砂糖

右三藥為レ散、白湯嚥下。

(一〇) 咽喉焮腫者

アルターフルーム奇

(一一) 黒内障ニ因テ瞳子散大、或時々刺痛者

カロメル五匁 アコニット五分 砂糖一匁

右為レ散十分、一日三回。

(一二) 痘余毒眼、己ニ膿滿セントスル者

カロメル ゴウトスワール各八匁

アンチモニー製劑 砂糖一匁

右為レ散八分、一日三次一分宛用。

八歳ヨリ十二歳迄ハ大量用ユベシ。夫ヨリ以下ハ其量ヲ減ス

ヘシ。若右ノ劑ニテ効ナキハ外用

ラウダニウム

右温水ニ浸シ、鳥翅ヲ以テ其斑上ニ点ス。

(一三) 喘急者 脚湯及刺絡等、其他和胸劑ヲ用モ効無キ者

カロメル十二匁 ヲヒニウム一匁 硝石一匁

右六分、一日二、三貼ヲ服ス。

(一四) 停食嘔吐後、不大便、變急甚者

アルター一匁 大黃一錢

右水一セヲ以テ煮、雞子黃、胆八油四錢ヲ加ヘ、每一時二匙。

(一五) 疥癬

カロメル十五瓦 金硫黄十瓦 砂糖一瓦

右十分、毎日三貼

(一六) 咽喉痛

アルター一ロート 玫瑰蜜一瓦 甘草一瓦 アラビヤゴム一

錢 砂糖一瓦

右水百六十錢ヲ以テ煎。

兼用方

カロメル十三瓦 フンドルソウト一錢 砂糖一瓦

右十二分、朝夕一貼宛。

(一七) 白点眼

フッセガル一匁 或代用アロエ六瓦、然ル〇ハラウタニウム十滴也

右水二匁ヲ以テ溶化シ「ラウタニウム」五分ヲ加フヘシ。

又、海水ニテ眼ヲ洗ウベシ。

(一八) 肺病ト為シテ欲スル症

吐酒石一瓦 硝石一錢 アラビヤゴム一錢 アルター一瓦

右水煎、每一時一匙。

(一九) 百日咳

カロメル二十瓦 マグネシヤ五分 甘草一錢 砂糖一瓦

右十五分、一日三貼。

(二〇) 黒風内障

アコニット五分 吐酒石二瓦 砂糖一瓦

右十二分、一日二貼。

(二一) 産後発狂

フヒニウム五分迄口用 ○瀉血百廿錢 ○清涼劑サルヘー、スト、

アルター

(二二) 眼目昏闇、蒸発気閉塞ヨリ来ル者

アコニット一匁

右水二匁ヲ以テ煮過シ、ラウダニウム二分五厘ヲ加ヘ点薬ト

ス。若赤腫痛ヲ発セバ、マルハ、アルターヲ加フベシ。

服薬方

アコニット一錢 吐酒石二瓦 砂糖一瓦

右十二分、朝夕ニ貼服。○眼目汚穢者、石鹼水ヲ以テ洗フ。

(二三) 止下血方

硫黄一錢 酒石二錢

右二薬合為シ散、二日、三日、或、四日從シ症用シ之。

(二四) 舌疽初発、其頑硬肉ヲ切り除キ、其後顎下人迎ノ辺ニ梅

核ノ如キ者ヲ生ス。強ク之ヲ押バ、痛舌根ニ引、不レ押ハ、痛

漸次大ナラントスル者

シキユータサルフ

右一薬頻ニ患上ニ搽ス

内用

シキユータ一錢 キーナ三錢 甘草膏適宜

右先ツ甘草膏ニ水少許ヲ加ヘ、徐々ニ煮解シ、余薬ヲ投シ丸

ト為シ、廿日ニ服ス〔シキユータ服量一日ニ五厘ニ当ル〕

(二五) 舌疽ヲ切り去ツテ痛甚者用ニ海葱下劑、而後含嗽劑ヲ与

フ。其方

メルロサリニウム一瓦 煎茶汁一匁

右二味合ズ、加オピウム太陽煎二十滴

痛最モ甚シキ者、タルタニユム劑ヲ用ユ。

(二六) 老人咳嗽強ク、動搖スレハ呼吸短促、吐ニ出粘痰、脛骨、眼瞼等ニ微腫アリ。脉緊數者。然レモ有ニ熈衝候者禁之。

チキターリス十五瓦 甘草膏一錢

右二味水百廿錢ヲ以テ煮、三、四沸下火。サルヘ一錢ヒ

ヨシヤモス八瓦 毎時服一匙。

(二七) 腹水施ニ穿腹術、後衰弱甚者

カネール カレオベラタ ガリガー メンタ ケンチ

ユニヘル カルミニス

右水煎如レ常。

(二八) 脱肛大ニ突出、痛甚者

カロメル六瓦 硫黄五瓦 酒石一錢 砂糖適宜

(二九) 右四味合、一日服尽。○時々施ニ水銑法ニ 利水散 主治

見レ于ニ丸散方中

蠅蝟石二瓦 酒石酸十二瓦或十瓦 チキターリス一瓦 竜腦

三瓦

右合六分、一日服尽。兼用利水飲劑

其方

泥葛根三錢 竜腦五分 杜松子一瓦 大黃二錢

右四味水百五十錢ヲ以テ煮取百廿錢、投芒硝四錢、硝石二錢溶

解シ、加メンタ油三滴、牛胆五分。每一時用三匙、或、一

匙半。

又方 主治小瘡内攻、小水不利

酒石酸三分 竜腦九瓦

右為ニ丸貼、三日服尽。兼用利水飲劑

(三〇) 關節屈伸不妨、之ヲ押ハ微痛、否レハ不痛、歩即蹙ヲナス者

吐酒石五分 牛胆二錢 豚油八錢

右混和シ、患上ニ摩擦スルヲ一日三次、或、四次。海水浴ヲ

製シ、毎日二、三次浴セシム。

(三一) 寒冒後、咳嗽不止、肺癰トナラント欲スル者

硝石二錢 砂糖一瓦 吐酒石一瓦 甘草一錢

右合六分、二日服尽。

(三二) 疥癬内攻、咳嗽劇者

硫黄二錢 硝石半瓦 甘草同上 砂糖一瓦

右合十二分、每一時半服三貼。

(三三) 淋病熈痛甚者

アルター一瓦 甘草半瓦 亜麻仁半瓦

右三味以ニ大麦煎汁ニ廿、蜂蜜煮、去渣、加ニ硝石三錢

(三四) 下疳包莖前皮腫不レ退、経ノ口前皮不レ脱レ龜頭、当ニ小水

時劇痛、諸藥不レ奏レ効者

カロメル二十瓦 金硫黄十瓦 砂糖四錢

右合十分、一日三貼〔此方五、六モ用ヒテ嘔ヲ発スル者ハ、

方中ノ金硫黄ヲ四瓦ニシ用ユベシ〕

外用方 蒸劑 前皮莖根共ニ蒸スヘシ

加密兒列ニ三握 亜麻仁ニ三瓦

右以ニ水一升煮、取ニ八合、和ニ阿芙蓉液二十瓦、頻々蒸ニ滌

患所莖腐蝕部分、則從レ宜治レ之。

(三五) 暑月失勃兒督停食脉緩、舌上微苔、且、苔濁、腹達臍而痛、微下利。用_{後方}。

マグネシヤ一錢 吐根末十_分 大黃二十_分 砂糖三_匙
右合為三八貼、二日服_尽。

(三六) 岩腫截断前翻花スル_方

キナマ_ト 大黃 硝石 甘草 薄荷 纈草

右水煎

外用藥 ムードルコロイド

右一味煎

截断後癰_腫。其方

大黃 竜胆 硝石

右三味内服、又、癰_腫衰弱症、転_{後方}。

纈草 竜胆 ヒヨシヤモス ペーヘルメンタ

(三七) 瘰癧由_二酸液及粘液_一来者

吐根末五_分 カロメル十_分 阿片二_分 蝟蛄石二十_分 砂糖

一_匙

右調勻十二分、一日三貼。

又方

カロメル二十_分 吐根十_分 竜腦六_分 阿芙蓉三_分 蝟蛄石

三_錢 砂糖一_匙

右調勻

(三八) 腹水施_二穿腹術_一後

滿那一_匙 牛胆五分 竜胆同上 ホフマン十滴

右以_二水九十二錢_一煎服

(三九) 霍乱吐瀉甚者
右五分ニシ、白湯送下。

(四〇) 治内障眼丸子方(欄外記入吐酒石服量疑訛)

マグネシヤ二_錢 大黃三分五厘 砂糖一_錢 薄荷油 ラウタ

ニユム各六滴

阿魏一_錢 吐酒石同 甘草膏〔吐酒石服量疑訛〕

右為_レ丸、一日服_二三分三厘_一。

(四一) 淋家脚膝酸疼眩暈者、熊谷五郎

大黃五分 纈草二_錢 吐根末一_分

右以_二水一廿二煎_一、後加_二入緩硝石精五分_一、服量朝夕一匙宛。

(四二) 一男子歳廿九、神氣鬱冒、上逆易、憤怒者、地幾太利斯一_錢

サルヘ一_二錢 砂糖半_匙

右分為十二、朝夕一服宛。

(四三) 一婦臍骨辺癰_腫腐骨疽狀、汚液浸淫者

海塩精 甘硝石精各一_錢 キナマ_ト 醇六十滴 石灰水三十二_錢

右毎日服_二三十六滴_一。

(四四) 処女耳下粘液腫狀、按_レ之全形柔軟、大如_レ拳者

エブリコ デキタリス コウトスワール

右(以下欠字)

(四五) 一老婦肝脾部頑硬尖勃兒督云子宮頰腫

阿魏二_錢 纈草一_錢 ヒヨシヤモス五分 甘草膏四_錢

右為_二三百六十九_一、毎日服_二十五粒_一。

(四六) 徽毒上攻、腫子散大

アコニット二十_分 竜腦同上 吐根末十五_分 纈草一_錢 砂

糖一考

右細末分為廿貼、一日二貼。○時々頭上寒水ヲ灌グ。

(四七) 帶下方

カロメル二十瓜 エイスル三十瓜 大黃同 阿魏一錢 ドロ

ツブ四錢

右為二百丸、一日十九宛。

外用 蜀葵煎汁ニサルアンシモノニアシ一錢ヲ加へ、陰門ニ注射ス。

(四八) 痘後疥癬

カロメル二十瓜 ソルフルス三十瓜 サツサフラス半考 竜

腦十瓜 砂糖一考

右合為二十貼、一日二貼宛。

外用 海水ヲ温メ、日々浴ス。

(四九) 玲瓏角膜ノ白翳ヲ去ル方

アロエ六瓜 猛水一瓜 ラウダニユム十滴

右蜀葵煎汁十六錢中ニ溶和シ、翳上ニ点スルヲ日ニ二、三度。

又方

シンキブルーム 家豚脂ニ和シ、点スルモ可ナリ。

(五〇) 白点眼諸症

シュフリマート一瓜 アロエ二瓜 阿片半瓜

右水十六錢ニ溶解シ。眼中ニ点ズ。

内服 竜腦 カロメル

(五一) 小便赤澁者

吐酒石二錢 マグネシヤ五分 ラッパ一瓜 砂糖適宜

右分為三十六貼、日三服。

(五二) 加遲減児下劑

カロメル十瓜 大黃一瓜 砂糖適宜

右三葉混和シ、三貼ニ分チ、一日服尽。

(五三) ヤラツパ、カロメル劑 主治梅毒眼、其他数症、○膿満

眼症ニ上面綠色ヲ帶ル者ハ梅毒ヨリ来ノ兆也。

カロメル十五瓜 大黃二十五瓜 ヤラツパ十五瓜 砂糖一考

右十二分、朝夕一貼宛。

(五四) 利水方 主治小瘡内攻、及ニ胸膈内、粘液滯留、咳嗽、

或氣急、小水不利。脉実浮腫者

蜆石五分 酒石酸十二瓜、或十瓜 デキターリス一瓜

竜腦三瓜

右分三十六貼、一日服尽。○兼用利水温液。

(五五) 発汗散

礪砂二錢 吐酒石三厘三毛 砂糖一考

右十二分、一時毎ニ一貼ヲ服ス。

(五六) 制酸方

大黃一錢 マグネシヤ一錢 砂糖一考

右十二分、一日二貼

(五七) 竜腦散

麝香五厘 竜腦一瓜 砂糖少

右六貼ニ分ケ、毎一日服ニ一貼。

(五八) 発汗散 主治小兒痘瘡、可ニ発汗ニ症

吐根末三瓜 マグネシヤ五分 砂糖一錢

右分爲三六貼、二日服尽。

(五九) 強壯發汗散 痘可灌膿症

竜腦一分 酒石二分 金硫黄三匁 蝟石五分 砂糖二錢

右合爲三六服、二日用尽。

(六〇) 治及胃方 プレイトホフ

幾那 竜腦各十匁 麝香一分 マグネシヤ五分 ノミス二分

薄荷油六滴 和糖者

右六味研勻、分爲三十貼、二日用尽、○兼用胃部擦豆蔻

油。

(六一) 治喘散

カロメル十五匁 金硫黄十匁 デキターリス十匁 砂糖半匁

右十五分、一日二貼服。

(六二) 和胸劑

蜀葵一匁 セーゲワス同上 甘草二錢

右三味、若要發汗則加。

吐酒石一匁 硝石一錢

(六三) 收斂強壯劑

幾那一匁 竜旦少 硫黄精十五滴

右水煎。

(六四) エリキレルブプロプリータチスパラセルシシ方

泊天藍五分 沒藥一錢 蘆会同上 火酒一合

右爲三浸劑、服量一日自二十五滴一至廿五滴。

(六五) マグネシヤカロメル劑

マグネシヤ五分 カロメル五匁 甘草一錢 砂糖一匁

右爲散、十五分。

(六六) 阿美藍カロメル劑

阿美藍一匁 カロメル十二匁 大黃五分 砂糖六錢

右十二分

(六七) 竜腦劑

竜腦三分 硝石一錢、或二錢、臨時用甘草

右十二分。

(六八) シナーブルカンキリ劑

シナーブル三分 蝟石一錢 硝石五分

右十二分。

(六九) ウラツトワートル方

明礬 メリクリス セルーサ各五分 醋 火酒各四錢

右混和供用。

(七〇) 猛汞浴和水洗淨劑、并ニ含漱劑

猛汞一匁半 亜刺比亜膠一錢 水一卍

右磁罐中ニテ能磨研シ、後、蜂蜜一匁ヲ加フ

(七一) 發汗劑 痘瘡内陷症与レ之

纈草一錢 礪砂十二匁 吐酒石半匁

右先、纈草ヲ煎シ、後ニ葉ヲ加フ。

(七二) 鉄粉丸

大黃 鉄粉 蕎麥粉各十六錢 沒藥一錢

右糊丸。

(七三) 刺兩独方

金密陀二十錢 醋四合

右煮取半。

(七四) 殺虫丸

ゼーフォルム 大黃各五錢 竜胆三分 甘草五分
右四藥細末糊丸。

(七五) 硝石散劑

硝石二錢 砂糖一匁

右十二分、或、加甘草一錢

(七六) 硫尿酸

硫黃一錢 カロメル十二匁 砂糖一匁

右十二分。

(七七) 硫黃散 治疥癬、諸瘡。疹内陥變為腫瘍。

硫黃二錢 硝石一錢 砂糖一匁

右十二分。○或二日、又、三日服尽。

(七八) 阿魏丸

阿魏 大黃 甘草等分

右三藥研末混和、糊丸、服量一日阿魏一匁。

(七九) 治勞瘵方

甘草一錢 蜀葵四錢 イスランズモス同上 水百六十四錢

右煮三藥、後、加三次三藥、調勻

亞刺比亞護謨一匁 硝石二錢 ヒヨシヤモス十匁

右混和供用。○每朝服二次之飲料。

雞卵黃一箇 砂糖適宜

右投温湯攪勻服用。○兼施脚湯。

塩 白芥子各適宜

右温湯中調和供用。

(八〇) 治疥癬方

硫黃萃二匁 アンチモ 硝石各一匁 葱苡仁或代白糖
右為散、或、為丸。

(八一) ジキターリス散

ジキターリス十二匁 砂糖適宜

右十二分、一日三貼、或、硝石二錢、○服量ジキターリス四匁ニ過ズ。

(八二) 又方 治腹水

ジキターリス八匁 蝸蝓石二錢 酒石酸三分

右八貼ニ分チ、一日三貼、或ハ、四貼。

(八三) 牛胆煎

牛胆五分 竜胆一錢 水百五十錢

右煎服、每半時一匙ツ、服ス。○若シ塗劑トナス片ハ、牛胆、テレメン、雞子黃三藥ヲ用ユ。

(八四) 洗眼水方

亞鉛萃半匁 阿芙蓉液二滴 水一匁

右三藥混和、供用。

(八五) 猛汞溶化水

猛汞半匁 メルローサー一匁 亞刺比亞護謨一錢 水一匁

右混和供用。○兼用塗劑

メルローサー一匁 沒藥五分 硫黃精一滴

右混和シ塗藥トス。

(八六) アコニット散

アコニット散

アロニット十二匁 竜腦一匁或五分 甘草半錢

右混和、十二分ニシ、四日ニ服尽ス。

(八七) 強健酒

幾那四錢 竜胆半錢 エリキシルヒツテリヨール十五滴 醇

酒二合

右為ニ浸劑ニ

(八八) 洗眼水方

吐酒石半匁 水小瓶一盞

(八九) 治黃疸丸子方

石鹼 芸香各二錢 大黃一錢 酒石酸五分 エレキシルプ

ロブリータチスバラセルシ適宜

右為レ丸供用。

(九〇) カンフルマグネシヤ散 痘順症者用レ之

竜腦上好者、一匁 マグネシヤ一分 甘草末一分 砂糖五分

右六服トス。

(九一) ジキターリス飲劑

ジキターリス十二匁 硝石五分後加入ス 水一合

右水煎。〇一方 ジキターリス五分 ヒヨシヤモス二分 水一盞半

(九二) ベンソイン附藥

ベンソインテンキチユール四錢 猛汞三匁 ロースワート

ル四十錢

右混和。

(九三) 神經劑

纈草浸劑一錢 ヒヨシヤモス半匁 薄荷油一滴 水適宜

右混和。

(九四) ランテルソウト飲

ランデルソウト二錢 水四十五錢

右一沸供用、或、加硝石五分。

(九五) カロメルジキターリス散

カロメル八匁 ジキターリス三匁 砂糖二錢

右混和供用。

(九六) 治喉散

金硫黃十四匁 カロメル十匁 砂糖一匁 或、加甘草末

右混和十四貼トシ、七日服尽ス。

(九七) 治喘息方

カロメル十五匁 金硫黃十匁 ジキターリス十匁 砂糖四錢

右十五貼トシ、一日二貼ヲ服ス。

(九八) 治腹痛方

蜆蛄石二錢 ジキターリス八匁 酒石酸三分

右八貼ニ分チ、一日三貼、或、四貼。

(九九) 治ニ腹水ニ飲劑

茴香子^{フニヘル} 茴香根 泥菖根 竜胆 茅根 大黃 硝石

右水煎、毎日テンキチユールエイセル十滴、牛胆五分ヲ加

へ、法ノ如ク用ユ。

(一〇〇) 健胃下劑

茴香 竜胆 大黃 甘草

右四藥

(一〇一) 強壯劑

纈草六錢 竜胆一錢

右水十五ヲ以テ煎、薄荷油四滴、ホフマン三十滴ヲ加ヘ用ユ供ス。

(1011) Tinctura oii mitis (Steven Son)

Oii purificati

Groni Angeriani aa zij

Spir gallic alb zij

Aqua destill

Macera in Vafi clausi per Sex dies, deimen

rincturamcola Px

Zwaszriet qtt j

overgehoalde water zij

M. F. of mer kan unigee ukinige greinen Welle

virioi in un geringe hoenichheid brand Wyñ

volgen

[右翻訳]

失勃児督處方録二

(内題) 失勃児督處方録卷之二 丁亥年

(1013) 一処女眼痲腫後、烏睛曇暗者

アラビヤゴム五分 マルハ四錢

右水煎、加ニラウタニユム一分五厘。為ニ点眼水

内服 清凉剂

(1014) 老人喉頭弛緩声嘎者

吐酒石三錢 竜腦十五錢 蜂蜜十八錢

右調勻、毎日二次服ニ半茶匙。

含嗽剂

幾那八錢 礬石一錢 水一

右水煎、頻々含漱。

(1015) 一小兒胛上腕脱臼皮膚癢二小瘡者

甘汞十錢 金硫黄二錢 蜆蛤石一錢 砂糖一錢

右□□□□

(1016) 一寡婦肩背痛

竜腦十錢 礬砂一錢 リク、チヤ三分三厘 砂糖一錢

右十分、日二服

兼用方スウェートレーヘンデセ、八滴

右一日兩三次。

(1017) 久年腹痛 癍囊

大黃五分 薄荷油五滴 マグネシヤ五分 纈草一錢

右二分、一日服尽。

(1018) 前症兼痰喘

ランドルソウト 大黃各五分

右末トシ日ニ二三行ノ下利ヲ取ル。此方ヲ服スル一二月、後

方ヲ与フ。

マグネシヤ五分 蜆蛤石三分 砂糖二錢

右三分、一日服尽。

(1019) 半身不遂

大黃二錢 吐根二十片 纈草二錢 竜胆五分

右研末糊、為二百丸、日二十九。

外用方

カヤテープ油

右頻々患所ニ摩擦ス。又、海水浴、温泉浴脚湯。

(一一〇) 頭痛自ニ微毒ニ来者

ヘーニユスチンクチュール。方出レ干レ後

右日二十滴ヨリ、二十滴ニ至ル。

兼用飲劑

大黃一錢 サルサハリ四錢 竜腦少許

右一廿ノ水ニテ煎、日ニ三茶碗。

(一一一) 胃中不化、手足腫起者

マーグエリキレル

右 □□□□

外用 カヤプーテ油、一葉胃上、及ヒ、手足ニ塗ル

(一一二) 子宮攣急

カランプスチルレンデミットル十二滴位

右一日ニ二度。○兼施脚湯。

(一一三) 微毒胸痛者

甘汞

為ニ散用、随レ症配合

煎劑

奇良 亜麻仁

水煎、温服

散劑

硝石 蠅蝟石

(一一四) 胸痛者

硝石二錢

右蜀葵煎汁ニ溶化シ用ユ。或、吐石石二片ヲ加フ。

(一一五) 耳聾因ニ微毒ニ来者

甘汞 丸散内服

外用 水蛭 脚湯

又、カミルレ、マルハア

右水煎、水銃ヲ以テ耳中ヲ洗。

又、セーブ適宜 右温湯ニ溶化シ、如レ前洗フベシ。

(一一六) 癩痢

第一 刺絡

サルペートル ヒヨシヤモス カストレウム

随レ症用ユベシ。

(一一七) 神經病不意発レ笑者

ハレリアナ 海狸香 大黃 阿魏

右為レ丸服用、○寒水ヲ以テ頭上ヲ洗フベシ。○脚湯

(一一八) 婦人白帶下、黄胖ノ症ヲ兼ヌル者

鉄粉二十片 大黃同 阿魏一錢 カロメル二十片 甘草膏四錢

右百丸ト為シ、一日十九丸ヲ服ス。

外用蜀葵汁ヲ陰中ニ注射スベシ。

(一一九) 同白帶下、變メ赤帶下トナリ、陰門癢衝、当ニ尿時ニ痛者

蜀葵煎汁適宜 硝石二錢 硫黄精六滴

右合、每一時二匙、且、治久痲後陰門痲痛、尿血者

泊芙藍水 視力ヲ益シ、熾熱ヲ退ク。

サフラン末少 薔薇花露水大 竜胆少

右混和、供用。

(一一〇) 中風、言語渋滞、行步蹇難

纈草二錢 薄荷油一錢

右ニ藥水半セテ以テ煮、番木鱈六匁ヲ加ヘ、二日ニ用尽ス。

(一一一) 濕瘡半癒シテ内攻スル者

カンキリ二錢 カロメル一匁 竜腦二分 砂糖六錢

右研末、分為二十貼、一日三服。

(一一二) 陰莖勃起、精液漏出スル者

ハレリアナ 大黃

右ニ藥水煎。

外用 陰囊灌水、脚湯。

其後発暈スル時

カランプスチルレンテミツテル二、三滴 白湯送下。

(一一三) 陰囊水療法

トロイカルヲ挿テ、陰囊ヨリ水液ヲ漏出シ、其跡ニ水銃ヲ以テ漏シタル液ノ量ダケ、赤葡萄酒、水各半ヲ射入シ、其口ニ乾撒糸ヲ充ツ。如此毎日前ノ如ク施スヘシ。○内服方 硝

石 一葉溶化剤

若シ搔擽ヲ発スル時ハ、腹部ニ縛帶ヲ施スト云。失効兎督云、陰囊腫二、三種ノ起原アリ。一ハ水ヨリ発スル者、二ハ頑硬ヨリ発スル者、三ハ腹膜破裂ヨリ為ス者也。腹膜破裂

ハ、之ヲ収ムル牝、暫ク旧ニ復スト雖モ、從ッテ下垂ス。食後、其膨脹スルヲ覺フ。是レ其徵ナリ。

(一二四) 眼中頑肉白点

赤赤丹十五匁 亜鉛花六匁

右家猪脂二錢ヲ以テ和シ軟膏トス。一日三次、甚ダ些少宛聽

用、又此膏ニ蘆薈六匁牛胆二匁ヲ加フルコアリ

(一二五) 内障眼初起、及爛眩風ヲ兼ル者

甘汞

洗薬 亜鉛花 水ニ溶化シ用ユ。

(一二六) 内障瞳孔散大ノ者

ヒヨシヤモス十五匁 デキターリス十匁 甘草少

右三味為レ丸、三日用尽。

凡ソ亜鉛花及ジキターリスヲ点スル牝ハ、瞳子ヲシテ広濶ナラシメ、烏頭煎ヲ点スル牝ハ、瞳子ヲシテ縮収セシムル也。膿満眼ノ症ニ上面綠色ヲ帯ル者ハ微毒ヨリ来ル兆ナリ。眼焮痛ヲ緩めスル牝ハ獸類ノ骨髓ヲ点スルコアリ。針術前ニ瞳子ヲ開カセ広メン為メニ、ビルセンコロイド、并、シキユー

タ、反、阿片汁ヲ眼内ニ点ス。(ビルセンコロイド、代用莫若、和蘭甚ダ多シ。種ヲ下セバ生育スルト云)

(一二七) 一男子眼下ヨリ翳膜ヲ生シ、漸次ニ中央ニ及ビ、下部ノ方ヲ見ル因能ハス、唯上部ノミ見ル者

硝石二錢 ランドルソウト四錢 大黃五分 水一セ

右調勻、每半時服二匙。

外用、アルイン ソイクル

外用、アルイン ソイクル

右極研末、小刀尖ニテ些少眼中ニ点ス。

腋ヲ閉スル一霎時。

(一二八) 徽毒ヨリ来ル眼

カロメル十五瓦 大黃二十五瓦 ヤラツバ十五瓦 砂糖八錢

右十分、朝夕一分ヲ服ス。

(一二九) 疳眼勞眼(テーリング、ファン、オーグ)

猛汞 ラウダニユムワートル

右点眼水トナス。

(一三〇) 角膜翳曇

マルハワートルニ瓦 ラピスヘヒニユス三瓦 ラウダニユ

ム六滴

右点眼水。

(一三一) 乾燥眼夜中擧淚

マルハワートルニ瓦 エキスタラクトヒヨシヤモス四瓦

右点眼水。

(一三二) 黒障眼

エキスタラクトヒヨシヤモス十五瓦 プードルシキターリ

ス十瓦

右甘草膏ヲ以テ丸ト為ス。

(一三三) 痘瘡治法大略

區別

第一 真痘 假痘水痘、稠痘、稀痘

第二 発時局 初発 起脹 灌膿 結痂

第三 痘性質 善痘 焮腫痘 神經熱痘 腐敗熱痘

各四時ニ從テ薬品ノ區別アリ。四時ハ発時局也
善痘 薬ヲ用ルニ及ハズ。

焮腫熱痘 清凉剂、軟下剂、即答末林度、

満那、緩汞ノ類也。而發汁剂ヲ兼用スベシ。即チ、吐酒

石、金硫黄、礞砂等ナリ。且、軟性ノ発汗ハ錦葵、蜀葵

茅根、甘草等ナリ。此ハ煎剂ト為スベシ。

又焮衝痘變ジテ、神經熱痘、及、腐敗熱痘トナル。神經熱痘

ハ虚弱質ノ人ニ発ス。清凉方ヲ用ユ。大ニ熱性ノ物ヲ禁ス。

即

緞草 水楊梅 大黃 ヒヨシヤモス カロメル スピリ

チユスニットリウム、温湯等ヲ用ユ。

腐敗痘ニ變ズルハ、

ミユスキユス 竜腦 鹿角精 硫黄精、海塩精等ヲ用ユ。

○吉那底里亞迦ハ害アリ。

(一三四) 肺癰 咳甚シキ者ヲ治ス丸子方〔其因ニ自聖京健一來。

胸痛、不能ニ仰臥ニ食、小水不利、或、吐膿、或、吐沫者即肺癰

吐酒石一瓦 ゴムアンモニヤク三十瓦 硝石一錢 竜旦二十瓦

右為レ末、以ニ甘草膏ニ為レ丸、四日服尽。

(一三五) 脂肪過多ヨリ発スル腹滿甚タシク、食スレバ胸下ニ迫

リ、苦悶甚タシキ者 殊ニ婦人ニ多シ。

礞砂一錢 芒硝四錢 大黃一錢

右先ツ水一廿ヲ以テ大黃ヲ煎シ、了テ礞砂、芒硝ヲ加ヘ用ニ

供ス。

(一三六) 小瘡内攻、日久シク、治シテ後、骨節疼痛、其状痛風

ノ如ク、或ハ霍膝風ノ如クナル者

カロメル二十瓦 吐酒石五瓦 アコニット五分

右三藥以ニ甘草膏二錢一、丸ヲ為六十粒、毎日十粒ヲ用ユ。

(一三七) 腹水病

カルミユス三錢 竜胆五分 大黃二錢 ユニヘル一瓦

右水煎、了テ芒硝四錢、硝石二錢ヲ解シ、薄荷油三滴、牛胆

五分ヲ加フ。

(一三八) 水腫病無ニ瘰癧候者

カンキリ五分 酒石酸百十瓦至廿瓦 ジキターリス一瓦 竜

腦三瓦

右合為ニ六分一、毎日用ニ三分一。

外用 乳香ヲ火ニ投ジ、其煙ヲ羅紗ニ薰シ、手足及全躰ヲ擦

スベシ。

又、牛胆、雞子黃、篤耨香、三藥調和、塗ニ腎部一

(一三九) 小瘡内攻、急迫泊テ後、微腫難レ退者

蝟蝟石一錢 酒石酸三分 竜胆九瓦

右調勻シ九分トシ、毎日三分。

(一四〇) 痔瘡

硫黃花一錢 ランドルソウト五分 砂糖四錢 甘草少

右合為レ六、毎日三。

(一四一) 伊働多之方

カロメル二十瓦 アコニット十五瓦 竜胆十瓦 糖一瓦

右合為レ十、毎口服レ二。

(一四二) 一僧六年以來呃逆ヲ患ヒ、一月発スルヲ七、八度、辛

辣液ヲ吐シ、且、脇腹變急ヲ発スル片ハ、呃逆自ラ愈ル者

大黃一錢 薄荷二錢 竜胆五分 緞草一錢

右水一廿ヲ以テ煮、後、ラウダニユム十滴ヲ加ヘ、毎半時服ニ

二匙一。

(一四三) 一嬰兒生後六十日、滿膚発ニ小瘡一。

蝟蝟石五分 金硫黃二瓦 大黃二錢 砂糖同

右分為三十二、毎日二服。

(一四四) 停食嘔吐後不大便、變急甚者

アルター一瓦 大黃一錢

右水一廿ヲ以テ煮、雞子黃一箇、胆八油半ヲ加ヘ、毎時二

匙。

兼用散劑

カロメル五瓦 オビウム一瓦 砂糖一瓦

右分為ニ六貼一、日二、三服。

(一四五) 淋病愈後腹痛者

カロメル十五瓦 ヤラツパ十瓦 大黃一錢 砂糖

右 □□□□

(一四六) 婦人分娩後、惡露不レ下者

マンナー一瓦 シュルバスソーダ半瓦

右水十五ヲニ溶解シ、毎半時一匙ヲ用ユ。

(一四七) 骨疽、瘡口ヨリ膿汁ヲ出ル者

内服 カロメル

外用 幾那煎汁 黃金水

右水銃ヲ以テ瘡孔ニ注射シ、外面水銀膏ヲ擦ス。

(一四八) 手指腫起ニ疼痛一

ロドソイクル一錢ヲ附ク。又、温湯ニ時々浸スモ可

(一四九) 痔疾経久、脆弱努氣少キ者

ウールテボーム楊皮

右水適宜ヲ以テ煎シ、手巾ニ浸シ貼ス。且、寒水モ亦可ナリ。

(一五〇) 軟和下劑 肝脾胃腸諸疾勝癰ニ尤可

カミルレー一ろ

右水百二十錢ヲ以テ煎シ、滿那八錢 胆八油同ヲ加フ

(一五一) 内障初起患風障

アコニット二十瓦 竜腦同 吐根十五瓦 纈草一錢 砂糖半ろ

右二十分、日ニ服レニ。但シ、之ヲ用ユル間、一日ニ二回吐劑ヲ用ユベシ。并、頭上ヲ冷水ニテ注グベシ。

(一五二) 痛風并帶下ヲ治ス

蠅蝟石二十瓦 アコニット十五瓦 竜腦十瓦 砂糖一ろ

右二十分、日ニ二服、時々ラハル、ヤラツバノ下劑ヲ兼用ス。外用温湯ニ浴ス。

(一五三) 留飲時ニ胸腹急痛

蠅蝟石一錢半 大黃一錢 纈草二錢 砂糖一ろ

右十分、一日服レニ、或、加薄荷油、阿芙蓉液一。

(一五四) 子宮衰弱、日々経血ヲ漏ス者

幾那一ろ 大黃一錢

右水一廿ヲ以テ煎シ、硫黄精十滴ヲ加へ、毎時一匙。

外用 寒海水ヲ陰中ニ注グヘシ。

(一五五) 小兒疥癬、酸痒スル者

蠅蝟石二十瓦 硫黄三十瓦 サツサフラス四錢 竜腦十瓦

砂糖一ろ

右二十分、一日二服。

外用 海水浴

(一五六) 帶下

纈草二錢 剛鉄精六滴 礪砂一錢

右一廿ノ水ヲ以テ、纈草ヲ煎シ、後、二葉ヲ入、毎晩一匙。

(一五七) 穿達扭謨方

サフラン四錢 肉桂末 水楊梅各五分

右火酒八ろニ浸ス一三日、渣ヲ去リ、ラビウム八錢ヲ加フ。

(一五八) 胸水

ジキタリス十瓦 サルヘートル二錢 薄荷油三滴 砂糖四錢

右十分、日ニ二服。

(一五九) 清涼鎮痛

サルヘー一錢 ラウタニウム十五滴 茶湯六十六錢

右溶化シ、朝夕二匙。

(一六〇) 疥癬内攻、脚膝難屈伸者

吐酒石四瓦 カロメル十瓦 アコニット五分 甘草膏二錢

右六十丸ト為シ、日ニ六丸。

(一六一) ヘーニユスチンクチュール方膝頭腫起、或、骨痛等諸微症

シユプリマート四瓦

右二ろノ水ニ解キ、竜腦二十瓦ヲ二ろノ火酒ニ溶シ、ラウタニウム二十滴ヲ加へ調勻シ、日ニ二十滴飲用ス。毎半日芒

硝、大黃ノ下劑ヲ施スベシ。(用法或云、初一、二日六滴、次日八滴、爾後一日服十滴)

(一六二) 勞瘵、咳嗽、吐痰、交々膿、胃虛、下利者

竜胆エキスタラクト 依斯蘭土苔 コロンポー

右三藥水煎、兼進ニ加密兒列一藥泡出湯一

(一六三) 一方 治ニ勞瘵咳嗽、著胸痛

金硫黃 白砂糖

右二藥混和シ、雞子黃ヲ以テ服ス。

(一六四) 老人喉頭五軟骨弛緩、声音嘶啞者重出

吐酒石四匁 竜腦十五匁 蜂蜜十六匁

右三藥調勻、毎服半茶匙、日二、三次。外用含嗽劑

吉那八錢 明礬一錢 水一セ

(一六五) 防腐劑

カミルレ四錢 水一セ

右煮テ湯成、幾那、醇竜腦各適宜ヲ加フ。

(一六六) 腎瘰腫ノ症

緩硝石精一錢 礞砂一錢

右混和供用

(一六七) 胃中粘液、物身発ニ斑疹、発熱、搔痒スル症

礞砂四錢 大黃一錢 竜胆三分 水一セ

右毎時服ニ一匙。

(一六八) 闕証候

蜈蚣石二錢 大黃一錢 阿片六匁 茴香五分 砂糖八錢

右極細末トシ調勻シ、二十五貼ニ分ケ、毎一服ツ、用ユ。

劇症ニハ毎日三貼ツ、用ユ。

(一六九) 肺癰経久、不愈者

依斯蘭土苔ニテ 蜀葵一匁 甘草五分

右一セノ水ヲ以テ煮テ汁ヲ取り

吐酒石二匁 硝石半匁

加へ、混和シ、半更コトニ一匙ヲ用ユ。○若シ脇胸痛甚シ

キ者ハ、瀉血凡ソ八匁許ヲ為スヘシ。後方ヲ用ユ。

カロメル一匁 金硫黃半匁 甘草一錢 砂糖半匁

右混和、二十貼ニ分チ、毎三貼。

(一七〇) 一男子年知命余、久年梅毒、喉頭潰瘍、頑肉怒脹、不能言、不能食、声啞、諸治無効

甘汞一匁 吐酒石二匁 海葱六匁 白糖一匁

右二十分、一日服三包。

(一七一) 肝臟閉塞、欲レ為ニ水腫ノ者

コロンポー一匁 阿魏半匁 鈦粉一錢 竜胆半匁

右混合為レ丸、毎日鈦一匁ノ量ヲ用ヒ、一劑ヲ六十日ニ服ス。

(一七二) 闕病症

牛胆一錢 竜胆オイトテレクセル一錢半 鉄極末二錢

右糊丸、毎日十個ヲ服ス。

外用方 葛上亭長チンキチュール一匁 アルコホル四匁 竜腦二錢

右毎日脚ヲ摩擦ス。

(一七三) 治ニ胎毒、手臂麻痺者一

アンチモニウム五分 カロメル二十匁 硫黃三十匁 蜈蚣四

十匁 砂糖四錢

右二十分、日服三包。

外用 石鹼浴湯、又ハ、温浴湯、後ニ石鹼ヲ溶解シ、其部ニ塗ル。

(一七四) 吐血肺ヨリシ、欲レ為ニ勞瘵者

覆盆子舍利別八錢 硝石一錢 ヒヨシヤモス一匁

右三味水半匁ニ溶化シ、毎更四錢ヲ服ス。

(一七五) レウマチ一ケ毒脊椎七八ニ中テ、疼痛兼胸痛者

烏頭一匁 竜腦二匁 糖適宜

右二十分、日ニ二貼ヲ服ス。第二日ヨリ烏頭ノ量ヲ増シ服ス。

又方

吐酒石二匁 ヒヨシヤモス二分五厘 硝石二錢 糖適宜

右二十分、毎日二服。

又方

礪砂各一錢

右一日ニ三度服ス。患部貼テ堯菁膏。

(一七六) 壞血病、全身衰弱者

幾那十二錢 竜腦二錢

右水半匁ヲ以テ煎シ、緑矾精十滴ヲ加ヘ、毎更服二三、三匙。

(一七七) 秋熱過半解散、然毒尚在ニ頭腦ニ不レ解者

刺蝟石五分 ヒヨシヤモス半匁 シキターリス十五匁 吐

酒石二匁 白糖半匁

右十五分、毎日五服。

外用 背椎七、八部貼引泡膏脚湯。

(一七八) 聖京健毒肺ニ着キ、勞ニ変セント欲スル者

硝石二錢 甘草一錢 吐酒石一匁 白糖一匁

右合為ニ六貼、毎日三貼。

(一七九) 同、咳嗽甚者、或、小瘡難レ治者

硫黄萃二錢 硝石 甘草各四錢 白糖一匁

右合五分〔半錢也〕ヲ一貼トシ、毎半時半貼ツ、用ニ。或ハ、十二貼トシ、毎二時半一貼ヲ用ユ。

(一八〇) 同、脉浮、飲食不レ進、小水赤、舌上黃白苔、微渴ス

ル者シキターリス十二匁 ヒヨシヤモス一匁 硝石一錢半

竜胆熱膏五分

右十二貼シ、毎日二服。○兼用葵根、菊花煎汁。

(一八一) 子宮硬結腫、黄赤紫黒ノ粘液ヲ漏出スル者

阿魏二錢 續草一錢 ヒヨシヤモス五分

右以ニ甘草膏二錢ニ調和、為ニ二百丸、毎日十五丸

(一八二) 制酸発汗

金硫黄二匁 麻屈溼失亞二錢 吐酒二匁 糖

右十二貼、毎日二服。

(一八三) 鉄魏丸白帶下、黄胖病等諸症

鉄粉三十匁 大黃同 阿魏一錢 甘草二十匁

右甘草膏四錢ニテ白丸ト為シ、毎日十粒宛。○陰腔中蜀葵汁ヲ射入ス。

ヲ射入ス。

(一八四) 哮喘丸

カロメル十五匁 金硫黄十匁 シキターリス十匁 砂糖四錢

右十服、毎日二服。

(一八五) 和痛散

竜腦二十分 テレメンシ適量 砂糖一匁

(一八六) 酸敗液、胃衰弱者

蝸蝸石二錢 阿片六分 茴香子五分 大黃一錢 白糖八錢

右五藥為末、二十五服トシ、一日一貼ヲ服ス。其症発スル

片ハ、一日三貼ヲ服ス。此方重出

(一八七) 焮腫眼、經十一年後、玲瓏角膜白翳不レ退者

猛汞一分 ラウダニユム六滴 水八錢

右調勻シ、翳上ニ点ス。焮衝甚キ片ハ、眼辺水蛭ヲ貼ス。尔

後左ノ方ニ転ス

古九三分 白糖十八分

(一八八) 大村侯之妾 腰骨ト股骨トノ間ニ悪液滯留シテ、屈伸

步行スル能ハス。歩ニ臨テ、足ノ外面ニ向ヒ、腰側微腫、微熱

アリ

海塩精一錢 石灰水四匁 キナミミ醇八錢 甘硝石精一錢

右合、毎日用ニ二十滴。

(一八九) ヘクトプレイステル

鯨膠二十錢 藪合香一錢 火酒適宜

右 □□□□

失勃兎督先生處方録 三

(内題) 失勃爾督先生藥方録

遠江 戸塚静海輯

(一九〇) 緩和剂 治尿血二方

亞麻仁四錢 亞刺比亞護膜二錢 亞尔苔八錢 橙汁四錢

右水一セツヲ以テ煮テ汁ヲ取り、每一時二匙ツ、用ユ。

(一九一) 水剂 治老人夏月卒厥、冷汗出而無吐下二症

續草丁幾吉爾二錢 エッセンチヤペー、ベルメンタ四滴 水

十六錢 右件調勻、頻々飲服。若心腹痛不レ止者、宜、加ニ阿美

蓉液二匁。

(一九二) 一婦人歳四十余、患肺勞、咳嗽不レ止、寒熱往来、

盜汗有レ時、全身疲憊、或咯ニ出粘痰、或渴、或便溏者、与ニ後

方

イスランズモス半匁 亞尔苔半匁 甘草二錢

右三藥水一セツヲ以テ煮、半時ゴトニ二匙ヲ服ス。兼用方次ノ

如シ。 ヒヨシヤモス一匁 海葱末二匁 砂糖四錢

右調勻シ、十五貼ニ分チ、毎日三貼ヲ与フ。

(一九三) 一男子三十歳余、患ニ萎瑪低迦熱、脉緊而数、舌上白

苔、無ニ穀氣、腹中微滿、大便溏瀉日三、四次、与ニ後方ニ

加邏墨爾十二分 瑪屈涅悉亞半錢 砂糖四錢

右調勻シ、十二貼ニ分チ、二時コトニ一貼宛用ヒ、緩和剂ヲ

兼用シ、塩氣ナキ食物ヲ与フ。三日ヲ経テ諸症依然トメ旧ノ如シ。兼ルニ口中乾燥、昏睡ヲ以テシ、時々妄語アリ。与ニ飲劑、其方

シキタリス一匁 ヒアット・インヒュスナニ多

右煮テ汁ヲ取り

マンナ一匁 ヒヨシヤモス熱膏一匁

二品ヲ溶解シ、一時コトニ一匙ヲ与フ。兼用散劑

加瀝墨兒一匁 瑪屈涅悉亞一錢 砂糖壹匁

右混和シ、分ツテ十貼トナシ、毎日五貼白湯送下。二日ヲ経テ諸症稍軽快ス。転ニ後方一

加瀝墨兒十匁 蝸蝸石半錢 吐根四匁 砂糖四錢

右調和シ、十服ニ分チ、毎日五服ヲ与フ。○又二日ヲ経テ諸症愈減シ、口中乾燥愈甚シク、舌上小瘡二、三点ヲ発ス。即チカロメルノ眼眩ナリ

金硫黃六匁 ジキタリス十二匁 ヒヨシヤモス半匁 砂糖四錢

糖四錢

右調勻シ、十二服ニ分チ、毎日四服ヲ用ユ。

兼用含漱劑

蜂蜜四錢 泥菖根八錢

右二藥水十二匁ヲ以テ煮テ半ヲ減ジ、含漱ス。此時ニ至リ、病者尿中ニ渾渣ヲ生シ、諸症大ニ解メ頭胸背微汗出テ、精力疲微ス。与ニ滋養劑ニ兼テ脚湯ヲ施シ、一月余ニシテ全快ス。

(一九四) 一婦人患発痲、癒而後経水驟來、上圍則下血如傾、盆、凡二日余愈益甚。予視之与ニ玫瑰浸劑加硫黃精。下血漸

歇、発熱頭痛、黙々不レ欲ニ飲食一。心下支滿、腹中拘急。按レ之則牽痛上下、不レ可忍。大便秘結、小便不利、時々頭眩而不能ニ自動。先生診レ之、処ニ後方一

加瀝墨兒廿匁 ジキタリス廿匁 蝸蝸石一錢 阿芙蓉一匁

右先三藥ヲ極末トシ、阿芙蓉末ヲ加ヘ調勻シ、十二服ニ分チ、二時コトニ一服ヲ用ヒ、飲劑ヲ兼用ス。其方

亞刺比亞護謨一錢 胆八油二錢 雞蛋黃一箇 溫湯八匁 阿芙蓉溶液十滴

右先ツ亞刺比亞護謨ヲ温湯ニ溶解シ、胆八油ヲ雞蛋黃ニ和シ、共ニ徐々ニ混和シ、阿芙蓉溶液ヲ加ヘ、用ニ供ス。毎二時二匙ヲ服ス。○芥子泥ヲ脚肚ニ貼シ、水蛭ヲ項頸ニ接シ、二匁余ニシテ漸々全快ス。

(一九五) 一老翁結毒多年不レ癒、卒然患ニ水腫。諸藥無レ効。余診レ之与ニ海葱加瀝墨兒等之利水劑、兼用加密尔列泡劑。腫氣大減而氣血順、口中腐爛、脉微、無レ殺氣一。由与ニ幾那加芳香健胃劑、徒下利耳。無ニ丁効、諸ニ診于ニ先生一。先生処方如レ左

幾那二錢 大黃五分 姑瀝^{ゴレン}莫暴一錢

右水一廿ヲ以テ煮テ半ヲ減ジ、阿芙蓉液廿滴ヲ加フ。毎服一匙ツ、日中時々用ヒ、夜間用ヒズ。凡ソ一劑ヲ四、五日ノ間ニ服サシム。兼用含漱劑

水楊皮八錢 泥菖根二錢

右水一廿半ヲ以テ煮テ半ヲ取り、竜腦一匁ヲ加ヘ供用ス。預

メ竜腦ヲ火酒ニ溶解シ、煎汁ニ和スベシ

病者其方ヲ服シ、含漱劑ヲ兼用スレバ、下利尚止ズ。胃氣不和、齒齲腐蝕、在苒不瘥、精神恍惚、脉愈微ニズ、日ヲ経テ斃ル。

(一九六) 加瀝墨兒劑

加瀝墨兒一匁 蝟蛄石一錢 大黃五分 砂糖四錢

右調和シ十貼ニ分チ、毎日二貼。

又方

加瀝墨兒十五匁 竜胆末一匁半 大黃一匁 秩吉荅力斯廿匁

砂糖適宜

右調勻シ、十五貼ニ分チ、毎日三貼ヲ用ユ。

(一九七) 一壯年感傷冷毒、胸腹掣痛、用後方二塗。

荅末林度四錢〔初メ八錢ト記シ、後チ改メ四錢ト為ス〕

滿那十二錢〔初メ四錢ト記シ、改メテ十二錢ト認ム〕

右水十二匁ヲ以テ煮テ半余ヲ取り、次ノ二味ヲ加フ

吐酒石半匁 薄荷油四滴

右二藥ヲ煎汁ニ溶解シ、一時ヲ隔テ一小茶碗ヲ服ス。

(一九八) 一貴更資性明敏、質弱而色蒼、身長形瘦、每縱膏梁、酒色亦不_レ乏、一朝患_二冒寒_一、頭痛、發熱、惡風、脉微數、胸背強痛、時々咳嗽、咯_二出粘痰_一、前後溲秘澁、服藥調理浹_二月_一、而頭痛猶熱惡風之症解、其他在苒不_レ退、却添_二心下支滿_一、腹筋攣拘、或嘈雜、或胸脇刺痛、或如_レ有_二物窒肋間_一。或食後心下苦滿、有_二軋失氣一_レ則覺_二輕快_一、或痰中引_二血糸_一、或交_二凝血大豆計_一、調攝數月、諸藥不_レ応。迎_二先生_一尤_レ治投劑如_レ左

阿魏一錢 竜胆熱膏五分 蒲公英根熱膏四錢 必_レ与_二悉約首_一

斯_二一匁_一

右四味為_レ丸、七日ノ間ニ服尽ス。

兼用散劑

滿屈漚悉約二錢 大黃末一錢

右調勻シ、時々少許ヲ用ユ。

却_二厚味膏梁_一、遠_二閨中_一、勸_二淡薄飲食_一、且每朝服_二雞汁_一、

○諸症稍輕解、咳嗽不_レ止、痰中交_レ血。留_二前方_一与_レ後方

硝石一錢 覆盆子舍利別八錢 清水四十八錢 必_レ与_二悉約首斯_一

十匁

右調和シ、一時コトニ一小匙ヲ服ス。

覆盆子舍利別製法

覆盆子二廿ヲ取り、其汁ヲ搾出シ、砂糖二廿半ヲ加へ、

煮テ漚過シ、更ニ煎熱シテ舍利別ノ調ト為ス。

爾後又治法ヲ軋ジ、撰養法ヲ授クルコト左ノ如シ

(以下 欠)

(一九九) 臍那八錢 牛胆五分 竜胆五分 ホフマン鎮痛液十滴

右三藥以_二水一廿_一煎、去_レ滓加_二鎮痛液_一。

病婦肝臟其_レ余腸間有_二數塊_一、既為_二硬結_一、宜_レ鉄水及_レ汞劑。

(二〇〇) 黒障眼与_二汞劑_一而後、依然如_レ旧、脉稍數者

荅末利度十六錢 シュルバスソーダ四錢 薄荷エツセント

三、四滴

右三藥 先以_二水半廿_一煎_二上二品_一、下_レ火而後加_二薄荷エツセ

ント、每一時用_二二匙_一。

用_二前方_一尚不_レ愈者、須_二与_レ左方_一

ハレリアナ適宜

右一葉煎、頻々服用

吐酒石膏

右單方日数次塗擦于大腸部

(二〇一) 一老僧全身小瘡、諸藥無驗。一医見之曰、非用劇劑不愈。因而就之請治。即用薰劑及下劑、猶不愈。經二年而其瘡結痂、振爬之則結痂片粉々落而如鱗屑。而後遍身關節強痛、屈伸難、蹇不能自動者

カロメル廿匁 吐酒石四匁 アコニト廿匁 甘草膏四匁

右合シテ三十丸トシ、一日ニ五丸ヲ服ス。

(二〇二) 一男子

□□□□

□□□□

シキタリス一匁 カロメル十五匁 大黃五分

右分ツテ十二服トシ、毎日用ニ二服。

(二〇三) 一女子年十二歳患腹肚膨脹。予見之以為蠅虫。因与殺虫下劑。其方

カロメル ヤラツバ

以上二葉糊丸。

陸続飲服三、四日而下蠅虫一条。尔後一朝腹滿頓減如□。

翌復如故。腹中脹滿依然不退。全身疲憊、食氣稍減。因

請診于先生。先生処ニ左方。

ハレリアナ 大黃 鷓鴣菜

以上三葉水煎、加ホルガル油。

(二〇四) 一婦人腹中有塊、漸々覺大。九十有余年而塊愈巨

大、兼腹肚膨脹、又曾有白帶下。先生云、子宮卵巣ノ硬結腫也

シキタリス五分

右以水八十錢余煮、加以下二葉。

大黃五分 竜胆三分三厘強

右能ク混和シ、毎日三匙ヲ用ユ。

(二〇五) 一婦人患多骨疽

カロメル一匁 阿魏五分 甘草膏適宜

右混和シテ五十丸トナシ、毎日十丸ヲ服ス。

(二〇六) 治頑癬或惡症皮膚病乾固痛痒二方

シユプリマート三匁 シンキブルーム家豚脂八匁

右能ク混合シ、患所ニ擦ス。

(二〇七) 一婦人患舌疽即薩州屋敷園江主方

ヒヨシヤモス越屈斯五分 シキタリス五匁 大黃末一錢

右三葉混和シ、甘草膏ヲ以テ丸トナシ、六十服ニ分チ、毎日五服ヲ用フ。

(二〇八) 一宮女患乳岩即薩摩右近様ノ側室 於スガ

カロメル八匁 シキユータ四匁 竜腦六匁 砂糖廿匁

右四味混和シテ十二服ニ分チ、朝夕一服ツ、用ユ。

外用 シキユータ膏

(二〇九) 一老父虛弱而四時覺冷

ヒヨシヤモス少 アンブル少 ハレリアナ 大黃

右甘草膏ニテ丸ト為ス。

(二二〇) 友人高良齋患ニレウマチ一ケ、オント、ステーキソフ、
コイルツ一

右諸方後チニ記ス

(二二一) 老人夏月患ニ卒厥一

ハレリアナチンキチユール二錢
ペーベルメンタ四滴
水
十六錢

右三藥、若疼痛アリテ劇シキモノハ、ラウタニユム二匁ヲ加
フ。

(二二二) 肥後藩士黒瀬茂 患ニ半身麻痺一兼以ニ漏痔一。其本徴氣
也

カロメル一匁 烏頭末十五匁 竜腦一匁

(二二三) 婢年十六歳、下唇卒然腐蝕、日甚漸及ニ上唇与ニ齒齦一、
其勢不可レ止、当貼ニ腐藥一

礬石五分 血竭一錢 朱五分 獸友膏二錢

右四藥各別ニ研末シ、水ヲ以テ溶シ、筆ヲ用テ擦患上。蜘蛛
糸厚キ者ヲ以テ被フ。

(二二四) 一商客患ニ中風一、人事不省、脉洪大而数

硝石二錢 ニットリユムドリユシス五分

右二藥一日一夜服尽ス。

シキタリス一錢 ヒヨシヤモス卅匁 ランドルソウト八錢

右一廿之水ニテ煎シ、一昼夜ニ服尽ス。